

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【連携事業】

幹事市町	下野市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	壬生町、下野市、上三川町	
事業名	しもつけ古墳群整備・活用事業	
事業主体の名称※		
代表者の名称※		
事業主体の所在※		
事業主体の概要	<p>・団体の目的: ・設立年月日: ・構成員等:</p>	
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市・壬生町・上三川町周辺には、6世紀後半以降に造られた古墳が点在しているが、それぞれの地域に古墳群としてまとまっており、同じ特徴を持つことから「しもつけ古墳群」と呼称している。また、下野市・甲塚古墳から出土した機織形埴輪や、壬生町・富士山古墳から出土した日本最大級の冢形埴輪など、話題になった多くの埴輪群もあり、国内でもこれほどまとまった地域に古墳時代から奈良・平安時代までの史跡が良好な状態で遺存していることは珍しく、下野薬師寺や国分寺・国分尼寺とあわせて古代の歴史を学習するうえで重要な地域にもなっており、近年は「東の飛鳥」ともいわれている。 これまで、各市町単独にて史跡整備やPR活動を行ってきたが、「しもつけ古墳群」の地域外の認知度は高くなく、地域住民ですら貴重な史跡であるという認識を持っている人は多くない。そのため、今後いかに観光資源として整備し認知度を高め、外から人を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>	
事業目的	<p>・「しもつけ古墳群」の認知度を高め、考古学ファンを中心とした来場者を増やす。 ・年間を通じて3市町に観光客が訪れるようにする。 ・(将来的に)考古学ファンを中心とした移住定住者を増やす。</p>	
事業概要	<p>これらの史跡は一体のものであるため、3市町合同で史跡の保護を行うとともに、効率的・効果的なPR活動を行っていく。</p> <p>【平成30年度】 ◇平成29年度「古墳マンスリー」として11月に下野市・壬生町・上三川町で連携した古墳群活用シンポジウムや講演会を開催したところ大変反響があったため、平成30年度も10月から11月にかけての期間に市町が連携したシンポジウムを開催した。 ・しもつけ古墳群関連シンポジウムの開催(開催日:12月6日、参加者:180名) ・上記シンポジウムの開催にあわせ関連資料を作成(広域連携事業で開催するシンポジウム案内チラシ・ポスターも併せて作成) ・壬生愛宕塚古墳発掘調査に伴う報告会(※11月上旬開催予定だったが、台風被害のため中止) ◇各市町の特性を活かした連携講座の開催(各市町で事前に広報し、相互運営・相互参加で連携) ・埴輪作り講座(2月2日開催、参加者19名)及び干瓢剥き講座(7月29日開催)の開催 ◇「古墳」パンフレットを使用した広域連携事業の「古墳巡りウォーキング」を実施 ・1市2町合同による古墳等の史跡めぐりの実施(上三川町で実施、開催日:12月15日、参加者:31名) ◇古墳案内看板設置工事(上三川町兜塚古墳) ◇古墳等遺跡から出土した遺物の保存処理業務の実施(保存処理終了後の遺物は古墳関連企画展で展示する) ・各講座やイベント開催等については、各市町のホームページ及び広報紙により周知した。 ・行政の枠を越えた連携講座等を定期的に開催することで、多くの方がより広域的に歴史を学ぶ機会が増え、ニーズに合わせた取り組みができた。また、自治体単独では担当者が少なく開催が困難だったイベント等も、1市2町で協力し開催することで、幅広い活動ができるようになっていった。加えて、各地域のボランティアの交流会を通じ、各地区の特色ある取り組みを学び、また、イベント時に協力をし合うなどの人的交流も図った。この交流や勉強会を通じ、地域の一体感を高めることで、内外の来場者に質の高い観光や学習の提供に繋げていった。</p> <p>【平成31年度】 引き続き、地域間連携による上記事業に加え、次の取組を行うことで、全国の考古学ファンを呼び込むよう努める。 ○3市町による古墳関連の企画展を開催(予定)</p>	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>《下野市》 【基本目標】②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H28実績 248万人】 【KPI】観光協会HPアクセス数:H26 132千件→H31 155千件【H28実績 19万3千件】 観光自転車利用者数:H26 632人→H31 700人【H28実績 1,469人】 国指定史跡地の整備進捗率:H26 61.5%→H31 64.0%【H28実績 65.5%】 しもつけ風土記の丘資料館入館者数:H26 1万5千人→H31 1万8千人【H28実績 1万9千人】</p> <p>《上三川町》 【基本目標】②子育て世代や若者の定住の促進 【成果目標】(町外からの体日滞在人口:H26 37,000人→H31 45,000人) ※現RESAS仕様での表記 基準値(H27.7)1.10倍 → 目標値(H31)1.30倍【H28実績 1.07倍】 【KPI】全国移住ナビページへのアクセス数:H26 - →H31 10,000件/年【H28実績 568件/年】</p> <p>《壬生町》 【基本目標】②壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光入込客数:H26 3,805,764人→H31 25%増【H28実績 401万人】 【KPI】ホームページアクセス数:H26 157,018→H31 210,000人【H28実績 375千件】 みふいハイウェイパーク来訪者数:H26 2,498,068→H31 3,000,000人【H28実績 254万人】 町内の東武鉄道駅乗降客数:H26 6,955→H31 7,300人【H28実績 7,010人】</p>	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・古墳パンフレット増刷 ・連携講座の開催 ・ボランティア団体交流会 ・上三川地内の説明看板等の設置	・シンポジウムの開催 ・シンポジウム資料等印刷業務 ・連携講座の開催 ・下野古墳群出土遺物保存処理業務 ・古墳等案内看板の設置工事	・シンポジウムの開催 ・古墳案内看板の設置工事 ・連携講座の開催 ・古墳出土遺物保存処理業務		・古墳巡りパンフレットを活用した史跡巡り等のイベント ・連携講座の開催
事業費	836,359	2,118,392	2,260,012	5,214,763	40,000
市町支出金(ソフト事業分)	836,359	2,118,392	2,260,012	5,214,763	40,000
うち県交付金	418,179	1,059,196	1,130,006	2,607,381	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	文化財課(文化財グループ)
担当者名	木村 友則
電話	0285-32-6105
連絡先 FAX	0285-32-8610
E-mail	30305@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけ古墳群整備・活用事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市町支出金	2,260,012	下野市 572,372 円 壬生町 800,960 円 上三川町 886,680 円
計	2,260,012	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	112,000	112,000	56,000	0	講師謝金 シンポジウム・講演会 80,000円 埴輪作り謝金 16,000円×2
印刷製本費	164,052	164,052	82,026	0	シンポジウム・説明会資料
委託料	680,400	680,400	340,200	0	下野市内古墳出土鉄製品保 存処理業務・上三川町兜塚 古墳発掘調査
工事請負費	1,303,560	1,303,560	651,780	0	古墳看板設置 上三川町(兜塚古墳)1基 584,280円 壬生町(愛宕塚古墳)1基 719,280円
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,260,012	2,260,012	1,130,006	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(連携事業支出整理票)

単位事業名	しもつけ古墳群整備・活用事業	対象年度	30	年度
-------	----------------	------	----	----

科目	精算額	下野市支出額		自主財源等	壬生町支出額		自主財源等	上三川町支出額		自主財源等	◎◎市町支出額		自主財源等
			県交付金			県交付金			県交付金			県交付金	
報償費	112,000	80,000	40,000	0	32,000	16,000	0	0	0	0			
印刷製本費	164,052	114,372	57,186	0	49,680	24,840	0	0	0	0			
委託料	680,400	378,000	189,000	0	0	0	0	302,400	151,200	0			
工事請負費	1,303,560	0	0	0	719,280	359,640	0	584,280	292,140	0			
計	2,260,012	572,372	286,186	0	800,960	400,480	0	886,680	443,340	0	0	0	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。